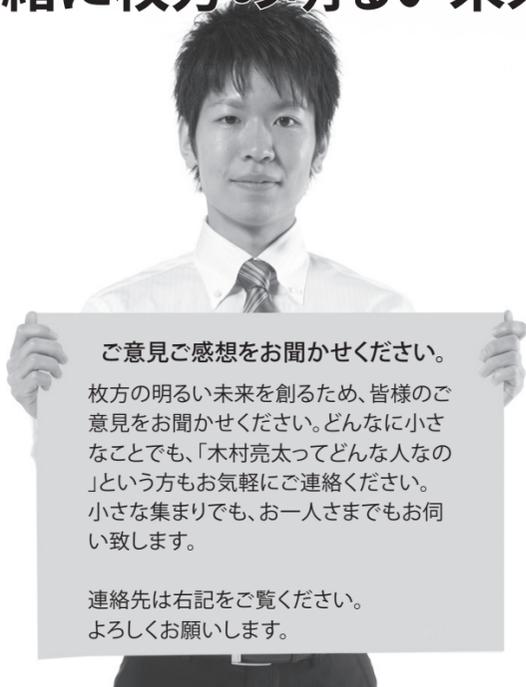


木村亮太と責任ある未来を創る会 一緒に枚方の明るい未来をつくりませんか？



ご意見ご感想をお聞かせください。

枚方の明るい未来を創るため、皆様のご意見をお聞かせください。どんなに小さなことでも、「木村亮太ってどんな人なの」という方もお気軽にご連絡ください。小さな集まりでも、お一人さまでもお伺い致します。

連絡先は右記をご覧ください。
よろしくお願ひします。

木村亮太プロフィール

1984年 4月22日生まれ
1997年 バンコク日本人学校卒業
(1991年枚方小学校入学)
2000年 枚方中学校卒業
2003年 四條畷高校卒業
2007年 大阪大学経済学部経済経営学科卒業
2007年 化粧品を扱うベンチャー企業に入社
(2010年退社)

学生時代、NPO法人ドットジェイピーで関西支部代表を務め、若年層の政治参画の促進、投票率向上などを旨とする。

事務所:

〒573-0027
大阪府枚方市大垣内町1-7-5
☎070-5651-5832
E-mail:hirakata@kimura-ryota.net

自宅:

〒573-0091
大阪府枚方市菊丘町30-1



きむら りょうた
木村亮太

明るい未来を創りたい

未来に責任

<http://kimura-ryota.net>

無所属 枚方市

発行責任者:木村節雄 木村亮太と責任ある未来を創る会 [討議資料]

明るい未来をつくりたい。

しがらみのない政治で負担を先送りせず、未来に責任ある世代が明るい未来、明るい枚方をつくりたい。

私が大人になるにつれ、枚方市駅前の施設や枚方を代表するイベントが徐々になくなり、街としての活気が失われてきました。地域主権が進む中、地方自治体は国に頼ることなく、独自運営をしていく必要に迫られます。そういった中、何のしがらみもなく、未来に責任のある私が枚方の明るい未来を創ります。

私が生まれ育った枚方には緑があり、江戸時代には宿場町として栄え、歴史もあるとてもいい街です。僕たちが大人になるに連れて、

枚方市駅前の百貨店の移転や、菊人形展の終了、花火大会の終了など、枚方らしさが失われてきています。また、市税収入も落ち込み、財政状況も悪化、高齢化の進行や子育ての問題、慢性的な交通渋滞の問題などさまざまな問題も抱えています。そうした問題に対して、地域主権が進む今、枚方で生まれ育った私がしがらみのない政治で、未来の世代に問題や負担を先送りせず、責任ある枚方の未来を創っていく責任があります。



未来に責任がもてる政策

見える政治、市民から近い政治をする
常に市民の皆様に情報を発信していきます。

行財政改革の推進
財政状況が苦しい中、財政の健全化と行政の効率化を進めます。

子育て世代の支援、教育の充実
未来の世代を育成することは現代世代の責任です。

地域活性化
NPO などの社会起業家との交流や地元企業との交流を通じ、地域活性化を目指します。

私が子供のときはもっと元気な枚方がここにありました。

私はもっと現役世代や未来世代が希望を持てるような明るい未来が作りたい。

明るい未来を描けない時代

私たちが生まれ育った平成は、日本の明るいニュースが少なく、私が生まれ育った枚方も活気が失われてきています。

今までの政治家は選挙に通るためだけに都合のいい選挙公約をつくり、将来世代に借金をするば撒き政治を続けてきました。その結果、膨らむ借金や年金問題、世代間格差の問題など、現在の世代や未来の世代のツ

ケがまわってきています。

ツケを残す政治をずっと続け、未来の世代に負担を先送りしては、政治に明るい未来はありません。

「このままでは自分が親になるとき、自分の子供が大人になるとき、いったいどうなるのだろう」と、将来に対して不安ばかりが募っていきま

政治家の果たすべき責任

税収増が見込めないこれからの時代は、国民全体、市民全体の事を考え、限られた税金を分配していかなければなりません。未来に負担を先送りしないためには、今やめなければならぬものも出てきます。

しかし、従来の政治家は未だに特定の団体のためだけの政治をし、職責を果たしていません。私はこのよう

に政治が機能していない状況に「このままでは良くない。でも誰かがどうにかしてくれる」と、他人事のように思っていました。しかし、政治が変わることはありませんでした。

学生時代の出会い

そんな私に大学時代、転機が訪れました。友人の誘いで若手議員のもとにインターンシップ（就業体験）をする機会がありました。彼らは、既存の政党にも所属

せず、日本の未来のため、地域の未来のために熱い志を持ち政治に取り組んでいました。多くの若手議員の方々と触れ合ううちに、「文句を言っているだけでは何も始まらない。自らが行動することで社会を変えていく」という彼らの姿勢に強く共感しました。

自らが行動し社会を変えていく

自ら行動することで、将来に希望が持て、日々の生活に対して不安がなく、人そ

れぞれが夢を見つけ夢に向かって挑戦できる社会にしていきたい。そのためには従来型の特定の団体だけの利益を考える政治家、未来に責任を持たず、負担を先送りし、借金を膨らます政治家では実現ができません。

私は政党にも特定の団体にも属していません。だからこそしがらみのない、従来のやり方にとらわれることのない政治ができます。枚方の明るい未来を創るため政治の世界に挑戦します。



木村亮太が枚方の明るい未来の為に走ります。

未来に責任のある木村亮太が枚方の未来のために取り組むこと

前進→

市民に近い政治
情報発信と投票率の向上を目指す

●投票率の向上●情報を発信

前回の市議会議員選挙の投票率は、46.93%です。有権者の2人に1人も選挙に行っていません。市民の皆様が選挙に行き、「今の枚方、未来の枚方を考えている政治家」を選ぶことで政治は変わります。選挙に行き、政治家を選ぶためにも情報が必要です。情報を常に発信し、市民に近い政治をします。

行財政改革

▼¥-14,565,509,000

●財政の健全化●強い組織をつくる

枚方市の財政状況（実質収支）は14億6,550万9千円の赤字です。また、別の借金（地方債現在高）は1,951億5,605万5千円あります。将来世代にこれ以上負担を増やさないう、財政改革に取り組みます。また、今後の行政運営効率化のため、モチベーションのあがる人事評価制度の構築など強い組織づくりに取り組めます。

（参考文献：枚方市ウェブサイト<http://www.city.hirakata.osaka.jp/>）

子育て支援

働きながら
子供が育てやすい枚方

●待機児童の解消●病児保育の充実

出産後、子供を預ける親も近くにおらず、保育所にも定員の問題で預けられず、職場復帰をしたくてもできない母親がいます。これからは共働き世代もますます増えてきます。共働きの子育て現役世代が子育てしやすく働きやすい環境を整え、「子供が欲しいけど、働けなくなる」という不安を解消します。

教育の充実

社会体験から考えるチカラ

●社会に必要な能力向上●考える力の養う

未来の世代を育成することは現代世代の責任です。単純に学校での成績を上げるだけでなく、企業への就業体験などを通じて、実社会で必要となる自分で考える能力や自分の考えを表現する能力などの向上にも取り組み、次世代を担う人材の育成を強化します。

地域活性化

空きスペースを活用し
NPO誘致で地域活性化

●空きスペース有効活用●NPO、社会起業家との連携
今ある、使われていない住宅街の空き家や、商店街の空き店舗などの「空き」をそのままにせず、新しいハコ物を借金をしてつくることなく、空きスペースを有効活用し、社会貢献のために活動しているNPOなどを誘致し、地域活性化を目指します。